

「第2連区仏教壮年会セミナー」を終えて

福井教区仏教壮年会連盟理事長
夏目 健之助

2024(令和6)年11月2日(土)～3日(日)に、福井教区担当で「第2連区仏教壮年会セミナー」を開催しました。

「第2連区仏教壮年会セミナー」は例年、土曜日の午後から開催し、終了次第解散という日程でしたが、今回は2日(土)午後からセミナーを開催し、その後福井別院にて懇親会を行い、宿泊し、3日(日)の午前中は毎年この時期に開催している「仏壮活性化交流会」を併催するという内容で開催しました。

セミナーのご講師は、大阪教区の義本弘導先生にお越しいただきました。

義本先生の講義に続いて班別話し合いを行い、その後は全体会を行いました。

全体会には義本先生にも同席いただき、「今、仏壮に入って活動されておられる方々は何を思うのか、仏壮の良いところは何か？若い人たちにアピールが足りないのではないか？セミナーでも研修会でも第一声若い人がいない、お寺のご住職のもっと熱い指導をいただきたい等の声が聞かれる。若者に仏法をひろめる活動をされている方々から話を聞かせていただくと、今一度私たちの活動のあり方が見えてくるのではないかと助言をいただきました。

地域によって事情は違いますが、今回参加された方からの「いつもと違うセミナーで、参加してよかった」との声に、非常にありがたい気持ちになりました。

セミナー終了後には、みんなで銭湯に行き、別院に戻ってからは食堂にて義本先生、教務所長や別院の職員の皆さんと夕食を共にしながら親睦を深めました。

翌日3日(日)の朝は晨朝参拝後、「仏壮活性化交流会」として、みんなで「竹あかり」を製作しました。

竹に、コピーされたデザインを貼り、インパクトドライバーに取り付けたキリにて穴をあけていきます。



義本先生は、限られた時間の中でも「下り藤」を見事に完成されました。



1つといわず2つ3つと製作された方もおられ、楽しい時間を過ごすことができ、とても良かったと思います。

これからの「仏教壮年会セミナー」のあり方について、机に座って講義を聞く研修会のような開催も大切ですが、工夫しながら交流会なども交えて独自の計画をしていただけると、朋友の輪の拡がりに繋がっていくのではないのでしょうか。

